

令和の大改修の進捗状況をお届けします 令和2年9月

三柱社の屋根修復

令和の大改修としては、まず三柱社を最初に取りかかりました。



5月11日から、6月1日にかけて、三柱社の桧皮(ひわだ)の修復が終わりました。

桧皮の悪くなった部分を取り除き、新しく葺き直しました。

表からだけでは分からない、内部まで細かく直しました。

なお、三柱社は、玉置神社本殿の改修が終わったら、全面改修を予定しています。今回の修繕は、それまで持たせるために、一部を直したものです。



三柱社の鳥居が白木に戻った



←この画像は、6月12日に竣工した三柱社の鳥居です。鳥居は白木に戻り、皆さん嬉しそうでした。

↓下の画像は、平成21年当時の三柱社の祭の様子です。鳥居は、木肌のままです。



三柱社の鳥居は、元々は、木肌そのままの白木の鳥居だったのです。

お稲荷さんの赤い鳥居は、全国的に有名ですが、三柱神社の鳥居は、五年ほど前までは、→右の画像のように木肌のままの鳥居だったのです。その理由は、「三柱社は、稲荷社とも呼ばれるが、稲荷信仰が始まる前からある」とされる為で、今日の稲荷信仰とは、一線を画していました。



それが、平成25年に、赤く塗り替えられ、多くの人々は、残念に思っていました。

今回の令和の大改修で、再び白木の鳥居に戻ったことを大変喜んで頂きました。

神武社と若宮社

神武社と若宮社の、修理についてです。

神武社も若宮社も、現在は、足場を組んで、幕が張られています。

神武社も若宮社も、基礎部分から朽ちてしまっていたので、使える部分は、古い部材を使いながら、全面改修をしている最中です。

社殿は、思っていた以上に痛んでいて、右の図のような箇所が多くありました。改修が進み悪い部分を取り除き、新しく次ぎ足していきます。



屋根の部分は、ほとんどを交換しました。白木の板で組み上げた上に、銅板を張ります。

できあがると、気持ちの良い社になるだろうと、期待が膨らみます。

→右は、修理に入る前の若宮社と神武社です。手前が神武社、奥が若宮社です。



バイオトイレ新設中

次に、バイオトイレについてです。



玉置神社の令和の大改修で、トイレが最先端のバイオトイレになります。

7月29日にお祓いをして基礎工事が始まりました。



現在のトイレは、自然浄化式のトイレで、昭和の時代に普通にあったトイレです。今も尚古い形を保って来ました。

それが、最新の水洗式トイレを新設することになりました。



環境に優しい、完全循環型のトイレに成ります。

工事は今、内部機材の取り付けが行われています。今秋には、完成する予定です。

これからは、参拝者の皆さんには、綺麗で快適なトイレを使って頂けるようになります。

